

昇天日

2013年5月4日 アシェル・イントレーター

福音書での出来事とユダヤの歴史との間には、驚くべき類似点があります。イエシュアは過越の祭に十字架につけられ、そしてイスラエルの子らが紅海を渡ったその同じ朝に復活しました(ヨハネ 20:1; 出エジプト 14:27)。聖霊は七週の祭に注がれました。賜物である異言は何世紀にも渡って教会から失われ、その間の同じ時期、ヘブライ語はユダヤの人々の話し言葉としては失われていました。そして、120年前から、それら(異言とヘブライ語)は両方とも回復したのです。

もう一つの重要な類似点は、天のエルサレムへイエシュアが昇天されたことと、イスラエルが 1967年にエルサレムを奪還したこと、それらは同じ日に起こったのです。イエシュアは神の御国について弟子たちに教えられたのは、過越の祭の三日後に復活された、およそ 40 日後 でした(使徒 1:3) エルサレム奪還もまたオメルを数え始める日から 43 日目に当たります。その日は、今年は 5 月 8 日です。

昇天という言葉はヘブライ語では「アリヤー」すなわち、「都上りの歌」(詩篇 120-134)と同じ言葉で、イエシュアの昇天、イスラエルの帰還、そしてエルサレムに上る事(イザヤ 2:3)は同じ言葉「アリヤー」なのです。イエシュアは天のエルサレムに上られ、教会の霊的な権威を得られました(エペソ 1:19-23; 2:6; 4:10)。主は地上のエルサレムに戻られ、イスラエルの政治的な権威を回復されるのです(II サムエル 7:12-16; 詩篇 2:6; 使徒 1:11; イザヤ 2 章)。

終わりに、天と地上のエルサレムは一つとなり、教会はイスラエルと共に、そして神の御名と権威も一つとなるのです(ゼカリヤ 14:9)。それゆえ、イエシュアの天への昇天とエルサレム奪還は同じ日にある一つになるのです。

恵みに何が問題があるのか

カリスマ誌からのマイク・ビッケル師の記事引用

人類史上最も強力な解放をもたらすメッセージは恵みの福音です。このすばらしい真理が強調しているのは、キリストが十字架で私たちのためにして下さった事、そして聖霊が私たちの日常生活で私たちのためにして下さる事なのです。パウロの劇的な宣言、すなわちキリストにあって私たちが新しい創造となることは、巨大な意味を含みます(II コリント 5:17-21)。

新しい創造とは私たちの霊の人です。私たちはまさしく神の議を所有するのです。(21 節)。キリストにある私たちの新しい地位、すなわち、どのように神が私たちを見、関係を結ぶのかを説明していません。律法の下から解放され、古きものは滅び去り、もはや罪の罰則の下になく、また罪の力によって

支配されることもなくなるのです。

それゆえ、何が問題なのでしょう。残念な事に、真理を变形させてしまうという人の自然な傾向が障壁となるのです。真理に関して言えば、それは恵みと同じぐらい基礎的であり重要であり、その変形は広範囲に渡る影響を及ぼす意味があります。それは全世代の中心的な危機となります。使徒ユダは、彼の時代のこの危機に直面しました。すなわち、彼が信者たちに「信仰」または、元々最初の使徒たちから伝えられた恵みのメッセージ(ユダ 3-4 章)に対して真剣に競うように(訳注:「競う」を意識すると「強く求める」ともとれます)熱心に勧めた時に起こったのです。考えてみて下さい。イエスの復活から一世代のうちに、すでに真の恵み メッセージのために競わなければならなかった(熱心に求めなければならなかった)のです。この真の恵みのメッセージに対する闘いはその時そうであったように、常にそのようにあるのです。

ユダは、ある特定の人々が恵みのメッセージを淫らなメッセージや、または様々な妥協を認めること、はては性的な不品行にまで薄めてしまったことを警告しました。これらの人々は説得力のある教えをし、その能力によって聖書が恵みについて語っている事をねじ曲げ、その結果、悔い改めなければならないという思いをせず、自信をもって罪にまみれた活動を続ける事を助長するのです。記事全体はこちらをクリックして下さい。(英語)

中東

シリアでの緊張は続いています。反政府軍イスラエル軍戦闘機が化学兵器保管庫の一つを爆撃したと報告しました。イスラエル政府はコメントを拒否しています。国会議員であるベン・エリエゼル氏は、化学兵器がヒズボラの手に渡り始めていると述べました。国会内の委員会の報告書によると、アサド政権と反政府軍のイスラエルに対する態度には何の差もないと結論付けています。しかし、ほとんどのイスラエル人はシリア人に起こっている災害について懸念を示しています。

アフマディネジャドの次の大統領を選ぶイラン大統領選挙があと 2 週間後に行われる予定です。言論の自由と宗教的表現のためにどうかお祈り下さい。国際制裁の結果経済が減速し、それが主要な選挙の争点となっています。

アラブ・リーグは新しい平和提議が出されました。それには、1967 年の国境線まで戻るという要求と共に、一定の土地の交換にオープンである事が含まれます。イスラエルの外交的な視点から見ると、これは重要な変化です。今週、二国共存案の方が、一国内の二重国家よりもましであるとネタニヤフは言いました。国際的なプレッシャーがかかっています。フランス法王はペレス大統領に、「和平」プロセスを支援するためにイスラエルにすぐ訪問すると約束しました。

IMJA(国際メシアニック・ジューイッシュ同盟)

私たちの親愛なる友であるポール・ウィルバーは先月、国際メシアニック・ジューイッシュ同盟 (International Messianic Jewish Alliance)の新しい事務局長の地位に就きます。ポールは世界的に知られた賛美アーティストで、Integrity Music 社からいくつも CD が発売されています。彼は 30 年以上も世界的なメシアニック・ジューイッシュ運動の指導者であり続けました。ポールはこの困難ですが魅力的なポジションに、ボランティアで着任します。ポールは IMJA が「諸国のしもべの声」となるよう彼は目指していると書いています。どうか、新しいビジョン、いのち、成長、そして世界中のメシアニック共同体に一致があるよう、彼のためにお祈り下さい。

神学的不一致

ダン・ジャスター師は最近難しい結婚カウンセリングについて報告しました。妻はこう言いました。「私たちは神学的不一致で離婚しようと思います。」ダンは尋ねました。「どうしてそうなったのか」妻は答えました。「私の夫は自分が神だと思ってるのよ。私はそれに反対だわ。」

七週の祭

ペンテコステ(七週の祭)の、徹夜の祈りと断食を放映するライブ・ストリーム放送のリンクは[こちらをクリック](#)して下さい。

祈りのテーマと賛美の見張りのためのサイトは[こちらをクリック](#)して下さい。

皆様が一つの心と一致をもって、私たちに加わって下さる事を楽しみにしています(使徒 1:14)。イスラエル時間 5 月 14 日 22:00(日本時間 16:00)~15 日 10:00(日本時間 4:00)の 12 時間です。私たちは終わりの時の世界的なリバイバルの約束の成就について執り成します(使徒 2:17)。それは初期の弟子たちに臨んだ同じ炎が伴うでしょう(使徒 2:1-4)。どうかこれらのリンクを友人たちや祈りのグループに転送して下さい。